

Good luck . Good life .
SANKYO
REPORT

第58期

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。第58期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）のご報告をするにあたり、ここにご挨拶を申し上げます。

2023年3月期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、ウイズコロナの下で行動制限の緩和など、各種政策が進められ、社会経済活動が正常化に向かい景気の持ち直しが期待されているものの、世界的な金融引き締めに伴う海外景気の下振れリスクや、資源価格の高騰、円安の進行による物価上昇を背景に、先行きは不透明な状況にあります。

当パチンコ・パチスロ業界では、2022年1月末を期限とする旧規則機の撤去に伴う入替需要の反動減、及び半導体等の電子部品不足の影響などを受け、パチンコ機・パチスロ機の総販売台数は前年度を下回る結果となりました。しかしながら、パチンコ機は安定した稼働状況と購買需要で推移しており、パチスロ機は、ゲーム性が拡充された6.5号機や、遊技メダルを必要としないスマートパチスロ機の登場により市場が盛り上がりを見せております。

こうした中、当社グループでは、パチンコ機関連事業におきましては、実績のあるシリーズ機を始め、新規タイアップ機を織り交ぜ、ファンの多様な嗜好に沿った商品展開を行い、近年投入した商品の稼働貢献によるブランド力向上も追い風となって、パチンコ機の販売台数が前期比6割増となり、2位以下を大きく引き離してトップシェアに返り咲くことができました。また、パチスロ機関連事業におきましては、業界最速投入となったSANKYOブランドのスマートパチスロ機第一弾「パチスロ 革命機ヴァルヴレイヴ」が、パラーの期待に応える稼働を見せヒット機種となったことから、パチスロ機の販売台数が前期比2.3倍となり、販売シェアの向上を果たすことができました。

以上の結果、売上高1,572億円（前期比85.4%増）、営業利益585億円（同174.1%増）、経常利益593億円（同166.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益については、投資有価証券の売却による特別利益の計上もあり468億円（同153.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

パチンコ機関連事業

パチンコ機関連事業につきましては、新規10タイトル（リユース機等を除く）を発売いたしました。主な販売タイトルは、



取締役会長

代表取締役社長
CEO

代表取締役副社長
COO

高橋 考行 石原 明彦 富山 一郎

SANKYOブランドの「フィーバーからくりサーカス」(2022年8月)、「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア3黄金絶唱」(2022年9月)、Bistyブランドの「宇宙戦艦ヤマト2202 -ONLY ONE-」(2022年7月)、「ゴジラ対エヴァンゲリオン ～G細胞覚醒～」(2022年12月)、JBブランドの「フィーバークィーンR U S H」(2022年11月)であります。

以上の結果、売上高1,225億円（前期比70.6%増）、営業利益542億円（同124.6%増）、販売台数268千台となりました。

パチスロ機関連事業

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドの「パチスロ アクエリオン ALL STARS」(2022年7月)、スマートパチスロ機第一弾「パチスロ 革命機ヴァルヴレイヴ」(2022年11月)、Bistyブランドの「パチスロ機動戦士ガンダムユニコーン」(2023年3月)の3タイトルであります。

以上の結果、売上高225億円（前期比153.6%増）、営業利益92億円（同682.6%増）、販売台数51千台となりました。

補給機器関連事業

補給機器関連事業につきましては、パラーにおいてスマートパチスロ機の導入に伴う設備投資が活発に行われたことから、売上高119億円（前期比207.9%増）、営業利益7億円（同540.9%増）となりました。

その他

その他につきましては、売上高1億円（前期比16.6%減）、営業利益21百万円（同49.0%減）となりました。

2024年3月期の見通し

次期（2024年3月期）につきましては、当パチンコ・パチスロ業界において、プレーヤー及び店員が一切遊技球に触れることなく遊技・計数が行えるスマートパチンコ機の導入がいよいよ始まるほか、昨年末より市場投入が始まった、遊技メダルを必要とせず、ゲーム性も拡充されたスマートパチスロ機の本格的な普及などが見込まれ、これらを契機に稼働状況の回復及び市場の活性

連結財務ハイライト (2023年3月期)

売上高

157,296 百万円 (前期比 85.4%増)

営業利益

58,532 百万円 (前期比 174.1%増)

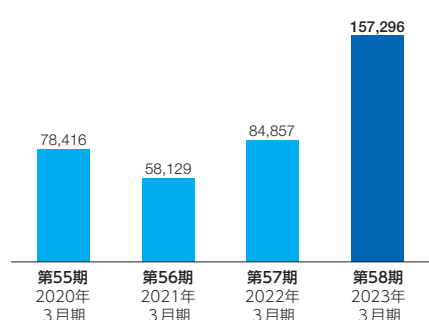
経常利益

59,341 百万円 (前期比 166.6%増)

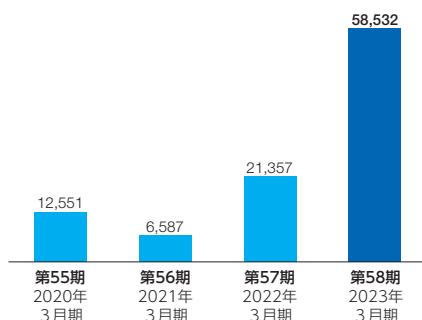
親会社株主に帰属する当期純利益

46,893 百万円 (前期比 153.9%増)

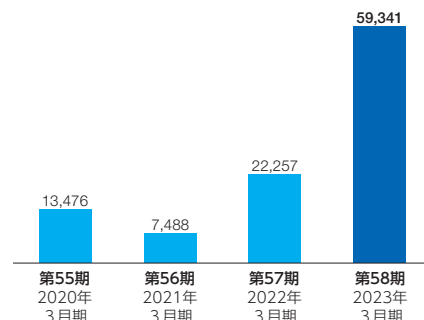
売上高 (単位: 百万円)



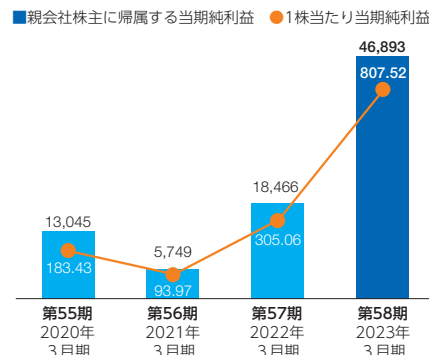
営業利益 (単位: 百万円)



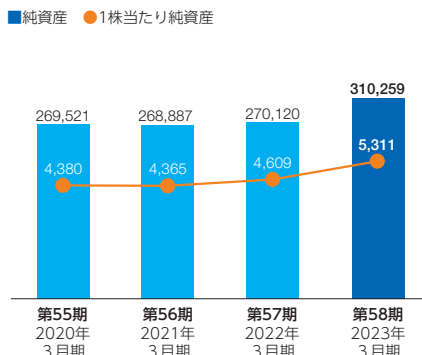
経常利益 (単位: 百万円)



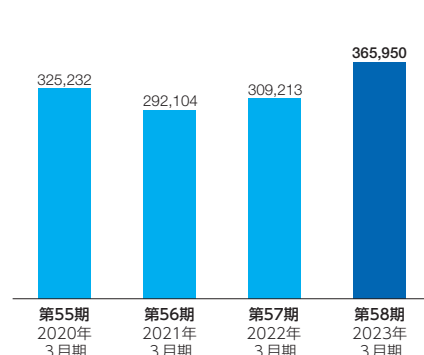
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)
1株当たり当期純利益 (単位: 円)



純資産 (単位: 百万円)
1株当たり純資産 (単位: 円)



総資産 (単位: 百万円)



化が期待されます。

このような環境下、当社グループでは、パチンコ機関連事業において、引き続き主力タイトルと新規タイアップ機を織り交ぜながらファンの多様な嗜好に対応するとともに、当社スマートパチンコ機第一弾については、スマート遊技機の特性を活かしたものとし、スマートパチンコ市場においても当社グループの開発力での優位性を存分に発揮してまいります。また、パチスロ機関連事業においても、前期3タイトルの販売に留まっていたタイトル数を増加させることで、パチスロ市場における当社グループの存在感のさらなる向上を目指し、遊技機市場におけるブランド力及び販売シェアの維持・向上に取り組んでまいります。

以上に基づき、当社グループの次期のパチンコ販売台数は287千台、パチスロ販売台数は90千台を計画しており、連結業績見通しは次のとおりであります。

● 2024年3月期 連結業績予想

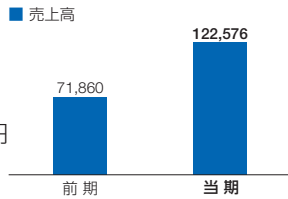
売上高	175,000百万円	(前期比 11.3%増)
営業利益	59,500百万円	(前期比 1.7%増)
経常利益	60,000百万円	(前期比 1.1%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	41,500百万円	(前期比 11.5%減)
1株当たり当期純利益	714.43円	
1株当たり年間配当金	150円	
うち中間配当金	75円	

セグメント別営業概況

パチンコ機関連事業

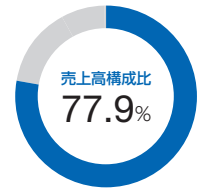
売上高

122,576 百万円
(前期比 70.6%増)



事業内容

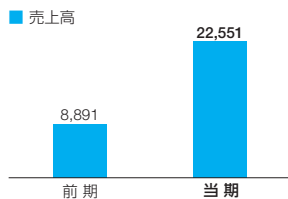
パチンコ機、パチンコ機ゲージ盤の製造販売、関連部品販売及びパチンコ機関連ロイヤリティ収入



パチスロ機関連事業

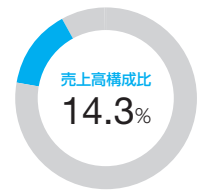
売上高

22,551 百万円
(前期比 153.6%増)



事業内容

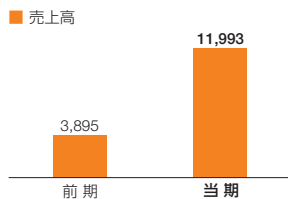
パチスロ機の製造販売、関連部品販売及びパチスロ機関連ロイヤリティ収入



補給機器関連事業

売上高

11,993 百万円
(前期比 207.9%増)



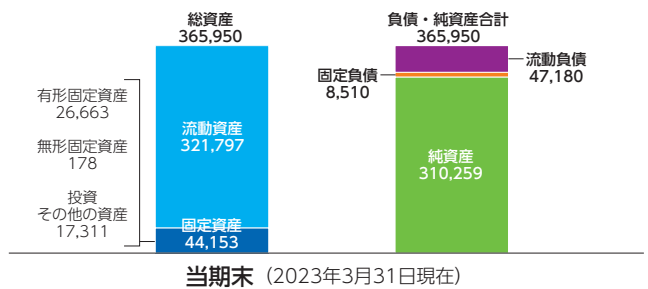
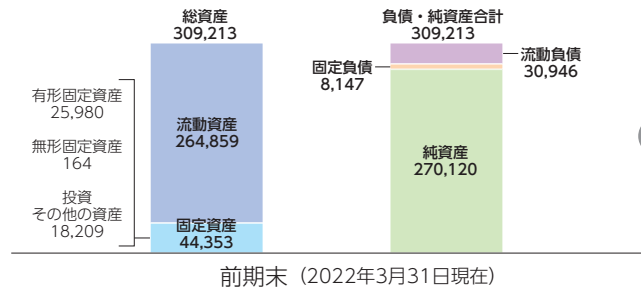
事業内容

パチンコ・パチスロ補給装置、カードシステム機器、ホール設備周辺機器販売及び補給機器関連ロイヤリティ収入

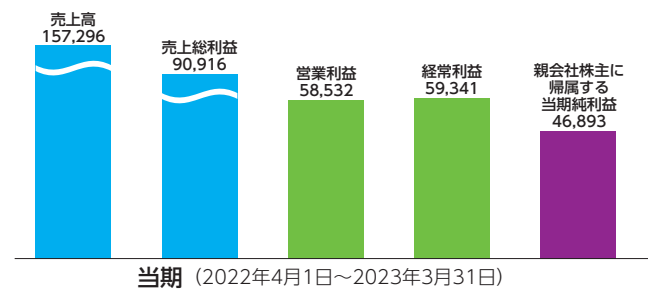
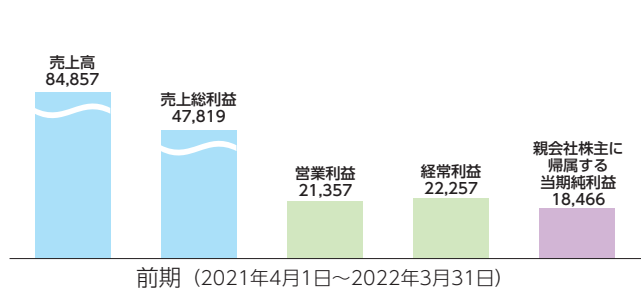


連結財務諸表

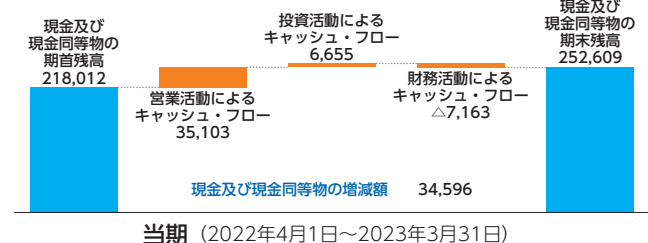
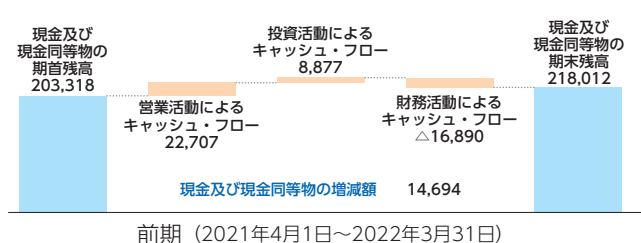
財政状態 (単位: 百万円)



経営成績 (単位: 百万円)



キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



SANKYOオリジナルコンテンツ「スプラッシュ×スプラッシュ」始動!



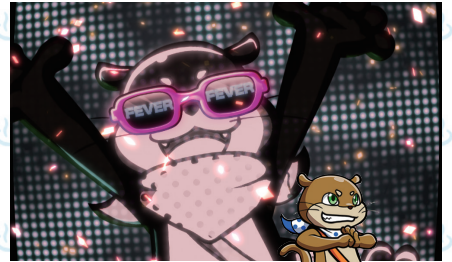
主要キャラクター紹介



カスミ
キサラギ三姉妹次女。
細かいことは気にしない
元気はつつ熱血娘



フブキ
キサラギ三姉妹末っ子。
普段はクールだがお姉ちゃん
(カスミ) 大好きっ子



ウッソー
人語を操れる温泉カワウン。
カスミのペットで相棒

当社はこのほど「フィーバーパワフルシリーズ」や「フィーバー夏祭りシリーズ」に続く、久々のオリジナルコンテンツ「スプラッシュ×スプラッシュ」を始動しました。

ストーリーは「泉歴2023年、幻の秘湯を掘り当てたものが幸せになる世界」の中、2人の少女と1匹のカワウンが「幻の秘湯」を探すため世界を冒険する物語です。

コンテンツポータルサイトでは、ストーリー紹介映像や登場キャラクター、ミュージックビデオなどがご覧いただけます。「スプラッシュ×スプラッシュ」ならではの世界観をぜひお楽しみください。

また6月上旬より同コンテンツを搭載したパチンコ機「フィーバースプラッシュ×スプラッシュ」も導入しています。その他、コミックや楽曲配信、グッズ販売等を多角的に展開し、メディアミックスでコンテンツを盛り上げてまいります。



<https://spxsp.s-contents.jp/>



コンテンツ展開



etc.



フィーバースプラッシュ×スプラッシュ

- SNS展開** SANKYO公式Twitter・Facebook
- Web展開** ポータルサイト、SANKYO調査隊、ファンサイト
- 動画展開** コンテンツPV、ミュージックビデオ
- 商品展開** ラインスタンプ、グッズ販売、楽曲配信
- その他** コミック

当社オリジナルメインキャラ

新しい仲間が
加わりました♪
みなさんも仲良くして
あげてくださいね!



カスミ&夢夢ちゃん



ナナちゃん&フブキ



ウッソー&ジャムちゃん

会社概要

商号	株式会社 SANKYO (登記社名 株式会社 三共)
本社	東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
設立	1966年4月
資本金	148億4千万円
従業員数	連結: 864名 単体: 737名
主要な事業内容	遊技機 (パチンコ機、パチスロ機) の製造 及び販売、補給機器等の設計施工及び販売
連結子会社	株式会社 三共エクスセル 株式会社 ビスティ 株式会社 ジェイビー

役員 (2023年6月29日現在)

取締役会長		毒島 秀行
代表取締役社長	CEO	石原 明彦
代表取締役副社長 執行役員	COO 営業本部・商品本部管掌	富山 一郎
社外取締役		木谷 太郎
社外取締役		山崎 博行
常勤監査役		五十嵐 洋子
監査役		石山 俊明
社外監査役		真田 芳郎
社外監査役		野田 典義
専務執行役員	商品本部長	小倉 敏男
常務執行役員	製造本部長	高井 克昌
常務執行役員	営業本部長 兼 販売戦略部長	東郷 裕二
常務執行役員	管理本部長 兼 経営企画部長	高橋 博史
常務執行役員	知的財産本部長	安藤 正登
執行役員	営業本部副本部長 兼 パーラー事業部管掌	尼子 勝紀
執行役員	商品本部副本部長 兼 商品企画部長	長谷川 浩二
執行役員	商品本部副本部長 兼 PS開発部長	高林 慎悟
執行役員	製造本部副本部長 兼 三和工場長 兼 業務部長	周藤 圭二
執行役員	管理本部副本部長 兼 経理部長	井上 卓
執行役員	管理本部副本部長 兼 総務部長	赤石 昌大
執行役員	商品本部 商品部長	堤 順一
執行役員	商品本部 業務部長	依田 英之
執行役員	情報システム本部長	毒島 壮
執行役員	商品本部 購買部長	羽地 隆

ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

SANKYO 検索 <https://www.sankyo-fever.co.jp/>

株式会社 SANKYO

本社: 〒150-8327 東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
お問い合わせ先: ☎ 03-5778-7777 (代表)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 (URL: https://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html)

株式の状況

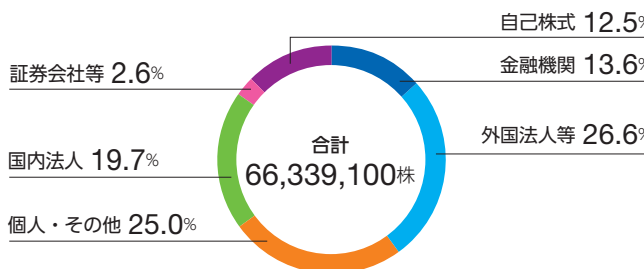
発行可能株式総数	144,000,000株
発行済株式総数	66,339,100株
株主数	11,043名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	5,447	9.38
株式会社 マーフコーポレーション	5,346	9.20
光通信株式会社	4,574	7.87
毒島 秀行	3,876	6.67
毒島 章子	1,976	3.40
赤石 典子	1,906	3.28
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,859	3.20
株式会社UH Partners 2	1,625	2.79
BNYM AS AGT/ CLTS NON TREATY JASDEC	1,235	2.12
株式会社りそな銀行	937	1.61

(注) 1. 持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(8,275,662株)を控除して計算しております。

株式の所有者別構成比



この冊子は環境保全のため、植物油インキを使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。